

SuperMonitor5

NCMS2000シリーズ専用 管理ソフトウェア

■ 主な特長

[プレーヤーのオンラインプロセスを監視]

テキストファイル形式のプレーヤーリストを未登録のフォルダ内に事前に保存しておくことで、各プレーヤーがオンラインになりCMSサーバーに登録されると自動的に事前定義のフォルダに移動されます。

[バッチ処理でプレーヤーを一括構成]

同一グループ内にあるすべてのプレーヤーのマルチメディア再生やローカルスケジュール、システム設定などの構成を、基準となるプレーヤーの設定に同期させることができます。

[コンテンツの再生、更新状態を監視する]

管理している各メディアプレーヤーの実際のディスプレイ表示をライブプレビューすることが可能です。これにより、今どのプレーヤーでどのコンテンツが表示されているかを常に把握することができます。また、コンテンツの更新履歴もトラッキングできるため、過去のコンテンツの変遷も把握することが可能です。。

[緊急イベントを配信]

緊急コンテンツの表示が必要な場合、SuperMonitor5を使用して緊急イベントを配信できます。緊急イベントが検出されると、対応プレーヤーは事前に用意されている緊急イベント用コンテンツを放映します。

[パッチの更新と管理を効率的に行う]

利用可能なパッチリストの作成や各パッチに対応するメディアプレーヤーの識別、大規模なデジタルサイネージネットワークのメンテナンス作業を容易にします。

[プレーヤーを再グループ化]

簡単なドラッグアンドドロップ操作でメディアプレーヤーを他のグループや他のCMSサーバーに移動できます。さらに、SuperMonitor5内のメディアプレーヤーやCMSサーバーのホスト名は、各プレーヤーやサーバー内の設定ファイルにアクセスすることなく変更可能です。

[異常時に警報を発信]

メディアプレーヤーと中央管理サーバー間の接続が切断された異常デバイスを検出し、この異常状態を電子メールで直ちに複数のユーザーへ送信したり、事前に設定したスケジュール時に配信することができます。

[データの暗号化による安全性の強化]

SuperMonitor5は高度な暗号化および認証システムを採用しており、データの漏洩を防ぎます。ユーザーは独自のキーを設定して、データのインテグリティ (統合性) を確保できます。

■ 技術仕様

オペレーティングシステム	Windows 7、Windows 8、Windows 10、Windows Server 2012
ディスプレイ解像度	1024×768またはそれ以上を推奨
プロセッサ	Intel(R) Pentium(R) 4 互換CPU またはそれ以降
メモリー	最小1024MB、2048MBまたはそれ以上を推奨
HDD空き容量	プログラムと構成設定ファイル用に200MB
備考	※操作画面は英語表示のみとなります